

# 行政評価を行いました

**行政評価とは** 行政評価とは、行政の行っているさまざまな仕事をより効果のある方法へと改善するとともに、今後の予算編成・組織管理・企画・計画の改定などに反映させる取り組みです。

目標を明確にして客観的な評価を行うことで、住民ニーズに対応したより良いサービスを効果的・効率的に提供することができ、評価結果に基づく改善を次年度以降の計画、事業に反映させていきます。

**行政評価の目的** 阿久比町では、次に掲げる3つの目的に重点を置いて行政評価を行っています。

- (1) 施策、事務事業の改善・改革  
担当職員の客観的な評価による改善・改革の提案と、事務事業の組み合わせとしての施策の方向性を明確にすることで、計画・実施・評価・改善につなげていきます。
- (2) 職員の意識改革と政策形成能力の向上  
それぞれの事業を目的から見直し、評価することにより、目的意識、成果意識、コスト意識といった職員の意識改革を図り、また、評価システムを継続的に運用することにより、職員の政策形成能力の向上を図ります。
- (3) 住民への説明責任  
行政サービスを提供したことにより住民がどれだけ満足したかという成果の概念と、人件費を含めたコストと成果の関係を評価し、改善・改革を検討します。結果を住民に公表することで、行政としての説明責任を果たしていきます。

**評価対象事務事業数**

平成30年度分として169の事務事業評価を実施し、「拡充」「改善」など施策の今後の方向性を判断しました。

今後の方向性	内 容	件 数
拡 充	投入量(人・予算など)を増加し、事業を拡大もしくは重点化して実施することで、さらに大きな成果を上げる事業。	22
改 善	投入量(人・予算など)はそのまま、事業手法などを見直すことにより、有効性や効率性などの改善を図る事業。	85
現状維持	投入量(人・予算など)と事業手法はそのまま、現在の成果を維持する事業。	60
縮 小	投入量(人・予算など)を削減し、効率性を高める事業。社会環境変化などの行政需要に照らし、事業の縮小がやむを得ないと判断される事業。	0
事業主体変更	事業を民間や住民団体などへ委託した方が、効率的に実施することができる事業。	1
事業統合	類似の目的や手法を持つほかの事務事業などと統合することにより、事業費の削減や効率化が図られる事業。	0
休 止	ある一定の条件がそろうまで、活動を一時的にやめる事業。	0
廃止・終了	社会環境変化などの行政需要に照らし、事業を廃止または終了する事業。	1
合 計		169

拡充は、「空家等対策事業」「道路橋梁の維持管理事業」「公園緑地事業」「災害対策施設整備事業」「放課後児童健全育成事業」「一般介護予防事業」「母子保健事業」「小・中学校環境整備事業(施設整備等)」「新学校給食センター建設事業」など22事業で、事業主体変更は、「阿久比町近郊リレーカーニバル事業」、終了は、「社会保障・税番号制度導入関連事業」です。

残り145の事務事業は、改善または現状維持と評価しました。

施策の目的・目標、施策の評価、今後の方向性、事務事業の改善の方向性など、詳しい結果は政策協働課の窓口と阿久比町ホームページ(<http://www.town.agui.lg.jp/ka/h30hyoka.html>)で公表しています。

**問い合わせ先** 政策協働課企画政策係 ☎(48) 1111 (内1310・1311)